

生産技術情報PF

計画実績連携PF

企業まるごとPF

設備管理PF

現場情報管理PF

企業間連携PF

予知保全PF

保守サービスPF

中小企業向けものづくり プラットフォーム

株式会社アプストウェブ
サイボウズ株式会社



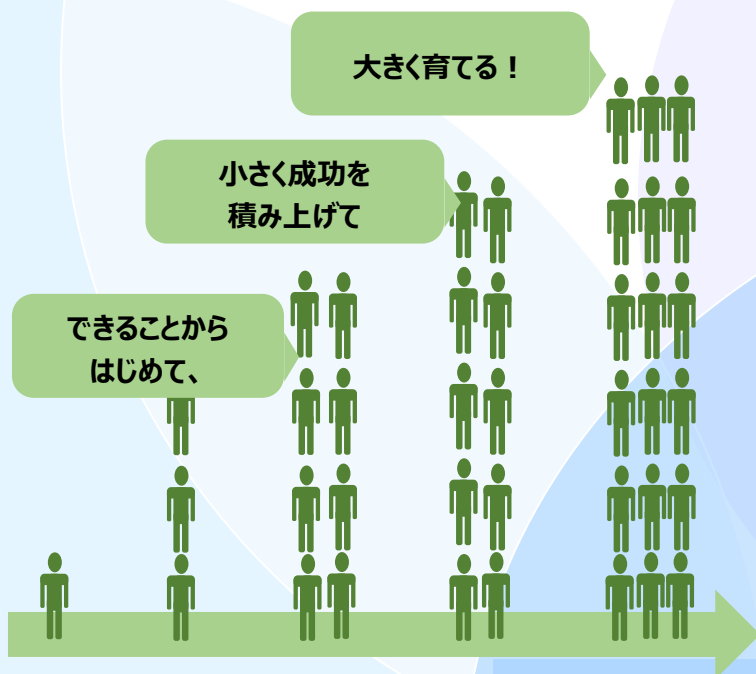
Industrial
Value Chain
Initiative



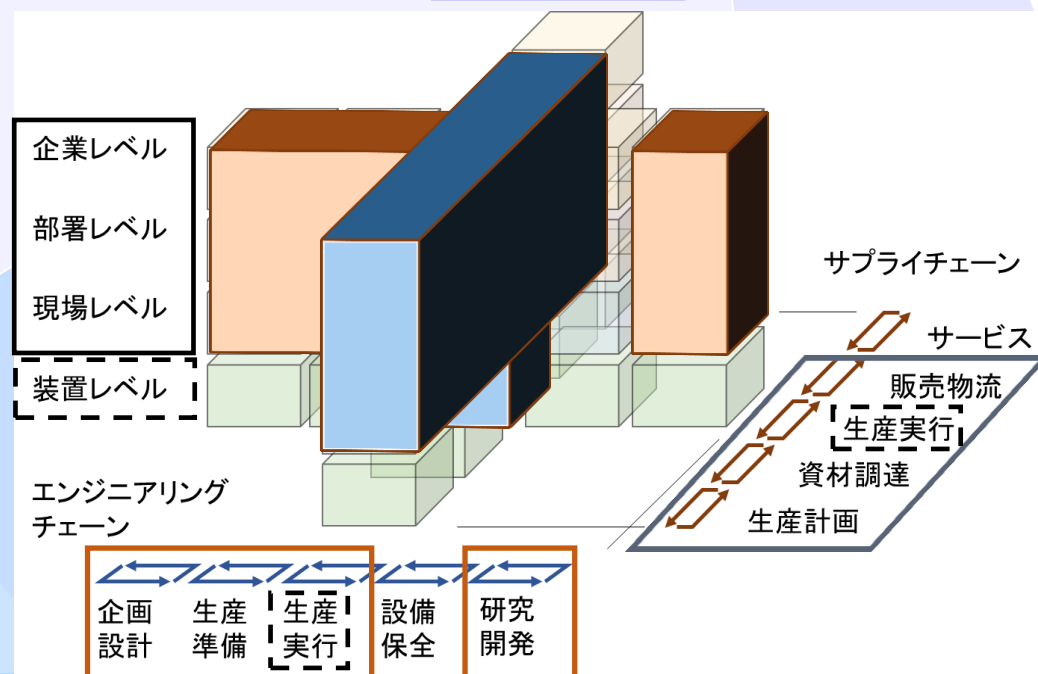
IVI公開シンポジウム-Spring-
2017年3月10日

- 小規模事業者、中小企業にITカイゼンを促進するためのプラットフォーム
- 各種業務テンプレートで機能網羅性を確認しながら、徐々にシステム化を進め、小さな成功を積み重ねていくアプローチに適する

コンセプト

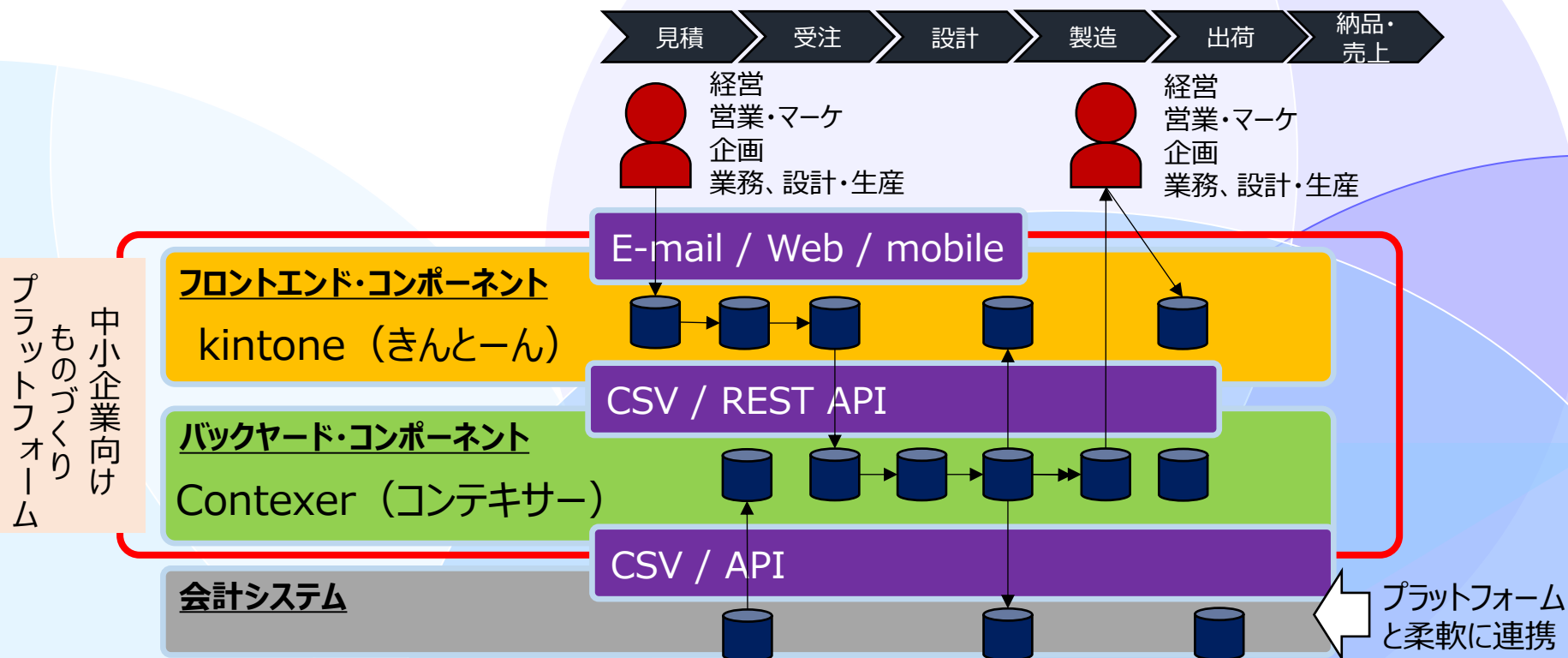


対象スコープ



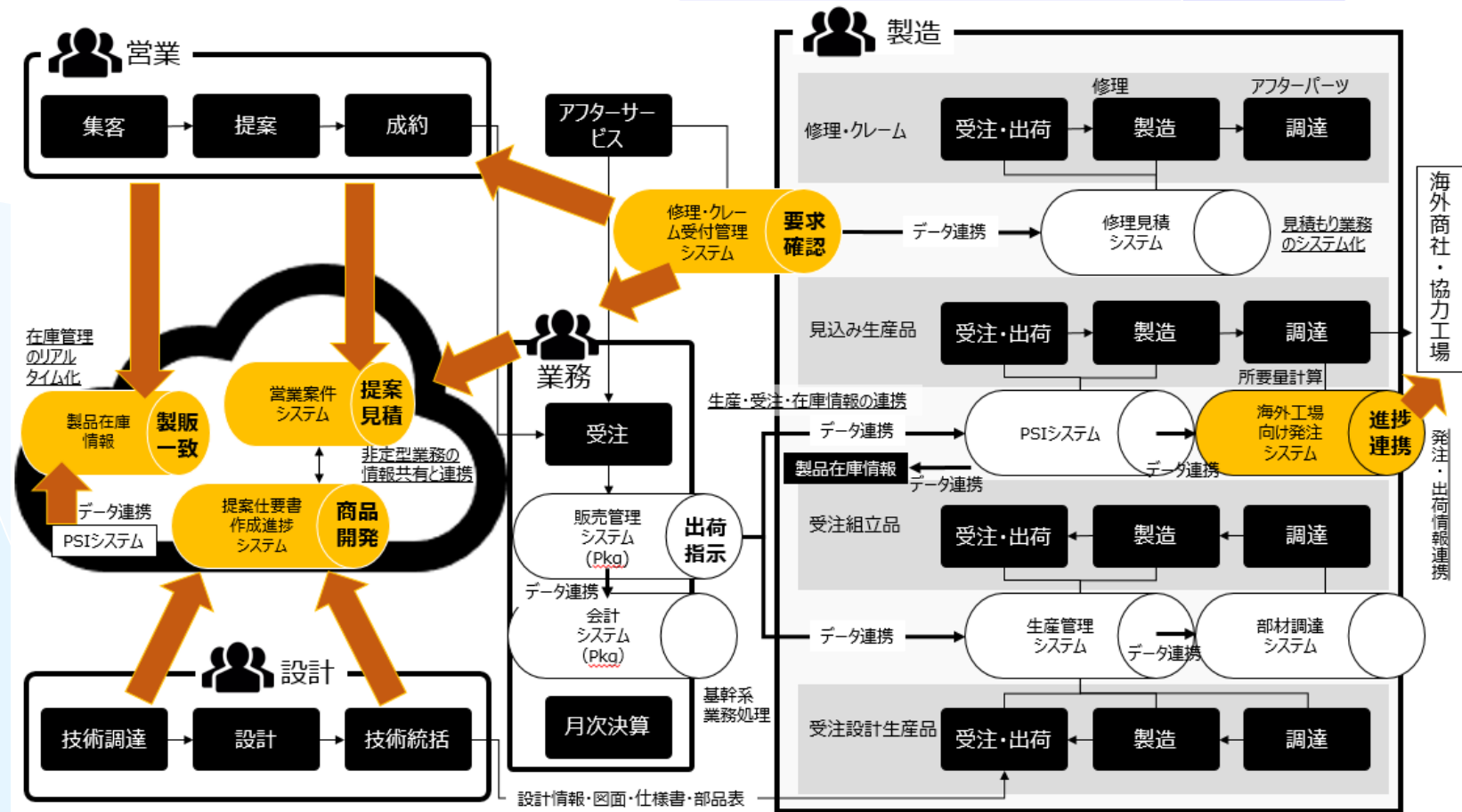
特徴と主なコンポーネント

- 独自の強い業務はkintoneで「お絵かき」構築
- 基本的なものづくり業務を行うためのアプリケーションテンプレート（顧客管理、案件管理、見積管理、販売管理、生産管理、購買管理）はコンテキサーを利用



利用例 (IVI-WG参加企業での例)

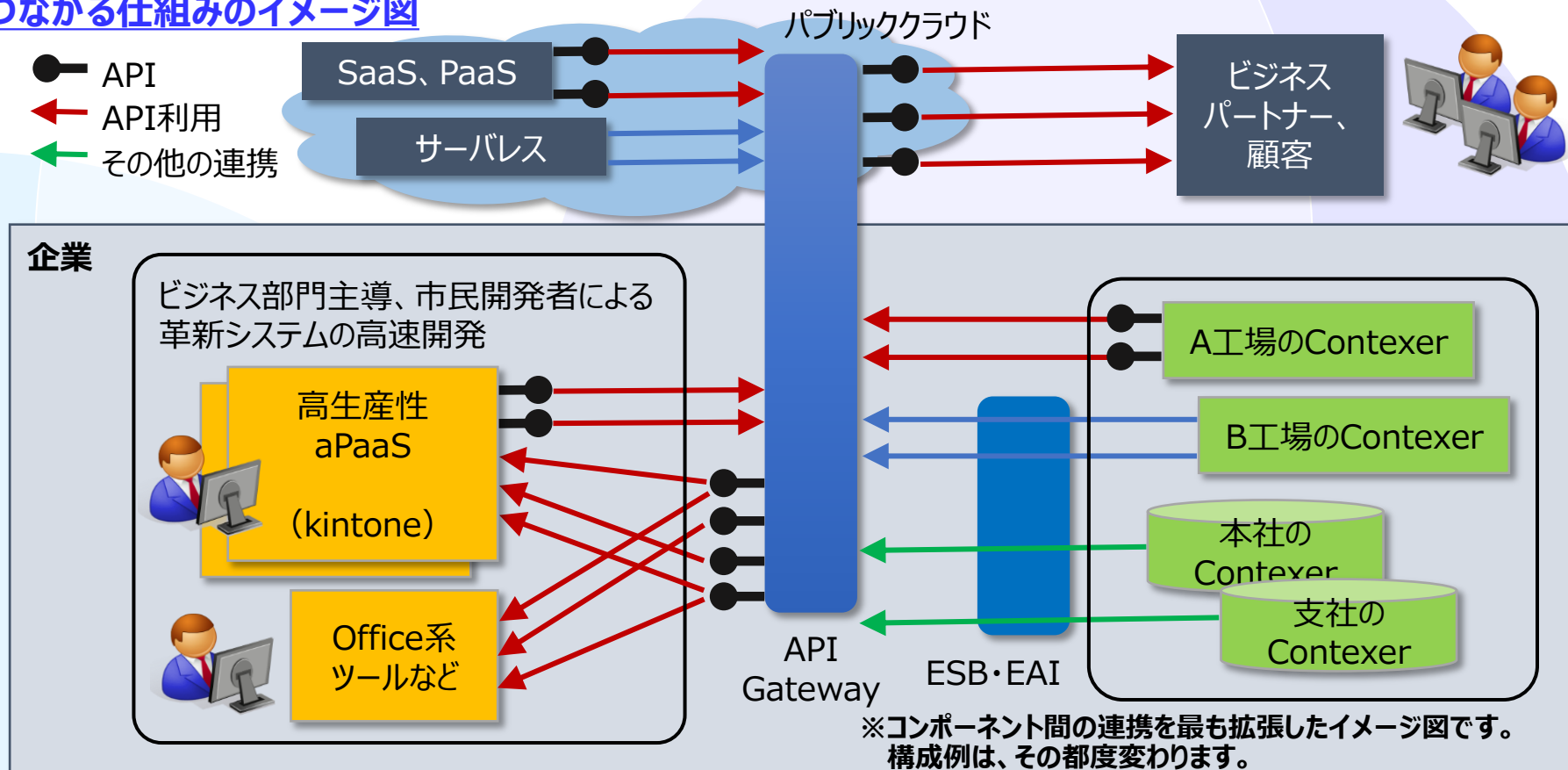
- フロントエンド (黄色、前工程・意思決定業務)
- バックヤード (白色、確定情報の処理業務)

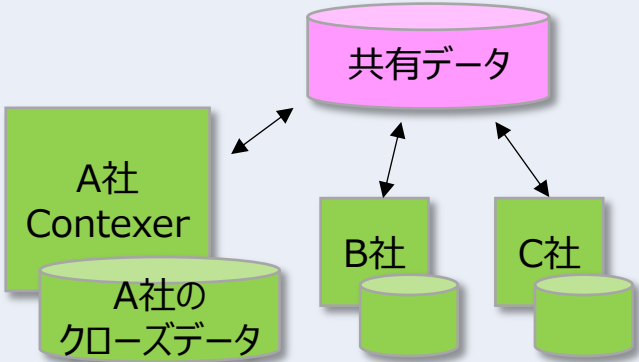
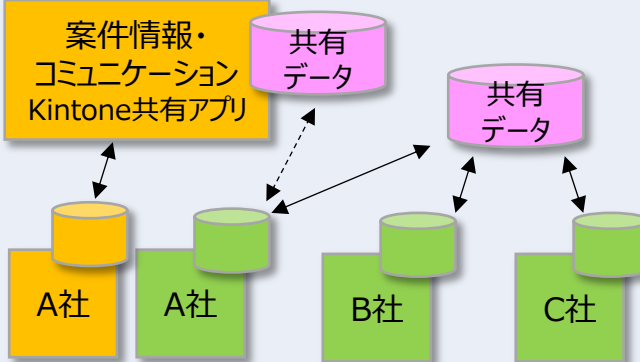


当プラットフォームのつながる仕組み

- kintoneとContexer間には相互のデータ連携APIを利用してつないでおり、同様の方法で様々なコンポーネントとつながることが可能 (kintoneはAPI仕様が公開済、ContexerクラウドデータベースもAPI仕様公開準備中)

つながる仕組みのイメージ図



	2H01：中小企業の水平連携における技術情報の伝達と共有	2H02：中小企業の水平連携と進捗の見える化 ※昨年からの継続部分
概要	<p><u>連携する製造企業間</u>で、試作案件のように変更が起こりやすい<u>顧客からの要求仕様を共有しつつ</u>、各企業のノウハウとなる<u>生産仕様の情報をクローズ管理</u>する</p>	<p><u>連携する製造企業間</u>で、引合などの<u>案件情報</u>や、企業間の<u>受発注</u>、および受発注に関わる<u>工程進捗の情報</u>を<u>見える化・共有</u>する <small>※工程進捗データを現場センサーから収集、可視化、共有する部分は富士通殿のプラットフォームで検証</small></p>
利用形態	<p>Contexerを利用</p> 	<p>kintone/Contexer双方を利用し連携</p> 
プラットフォームとして得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを円滑に行うコンポーネントとしてのkintoneの重要性 確実なセキュリティ確保とユーザーフレンドリーなデータのアクセス制御 	<ul style="list-style-type: none"> kintone/Contexer両コンポーネント間の接続実用性の確認 センサーのような新たなコンポーネントとつなぐ時のデータ仕様（例えばvol、頻度、構造など）の事前理解の重要性

• 感想

- IVIでの考え方や他プラットフォームの考え方を踏まえ、自社らの製品のプラットフォームとしての要素、コンポーネントとしての要素を振り返る良い機会となった

• IVIのゆるやかな標準への対応について

- 主なコンポーネントであるkintone/Contexerともにデータモデル自体から定義可能なので、IVI共通データモデルに合わせたものを用意していくアプローチは可能と考える

• 期待

- エコシステム化させていくための、プラットフォームとコンポーネントの定義・切り分けの議論と合意形成
- 異なるプラットフォーム製品を使う企業間での連携の在り方（プラットフォーム間がつながる？コンポーネントを介してつながる？）

 cybozu

ApstoWeb

ご清聴ありがとうございました